

# JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報

遵義堂

VOL.37

URL: https://dousokai.site/zezekoukou/ E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp  
発行人/大崎悦男 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会 大津市膳所 2-11-1 TEL077-524-4295 FAX077-524-1732  
発行日/令和2年4月15日 編集人/広報部会・卯田重子

巻頭エッセー	1
令和2年度総会のお知らせ	1
同窓生トピックス	2
膳所高校界隈の今	2
良友集い、母校を支援	2
班活動の今昔	3
周年同窓会・記念同窓会	4・5・6
周年・記念同窓会予告	6
同窓会事業のご案内・報告	6
石鹿文庫	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
膳所高NEWS	8

## 巻頭エッセー



### 膳所高と私

京大名誉教授 長尾 真  
昭和30年卒業(天津東高第3回)

私は昭和30年3月に天津東高校(現在の膳所高校)を卒業しました。その後京都大学工学部に学び、同助手、助教、教授、平成9年12月から6年間京都大学総長を務めました。

琵琶湖に漕ぎ出し、水の採集をしながら湖で泳ぐことができるので、実に楽しい夏休みでした。毎年夏に1週間くらいはこうして過ごしました。

クラス対抗の水泳大会には毎年平泳ぎで出ておりましたし、ボート大会にもエイトの一員として頑張っておりました。当時の校長先生は有名な林浩先生で、よく校長訓話があり、遵義堂の精神を叩き込まれました。これが私のその後の人生にとって大きな影響を与えてくれました。

膳所高校では化学班に入りましたが、毎年夏には物理班、地学班と一緒に琵琶湖の水質調査を先生方の指導で行いました。現在の膳所城跡あたりは当時漁業をやっている家が2、3軒あって、そこで和船を借り間に必死に勉強しました。

京大では当時ようやく始まったコンピュータ関係の研究をするという幸運に恵まれました。コンピュータを使った文字の自動読み取り、人の顔の認識、文章の他言語への自動翻訳、電子図書館などの研究を行いました。50歳の半ばからは大学の管理職の仕事が増え、ついに総長に選出され

研究はあきらめざるを得ませんでした。総長をしている間に膳所高校との間で高大連携計画を発足させ、京大の先生を膳所高校に派遣して講演会をしたり、膳所高校を放課後京大に来てもらって授業をしたりする活動が今も続いております。

これからは文系・理系の学問がどんどん融合され、企業や社会全体もこの頃よく言われている人工知能利用の時代になりま

## 新入会員



### 高校生活で学んだ事

令和2年3月卒業 濱口 航

私の高校生活はこれからの人生において本当に大きな意味を持つと思います。高校生活を充実させようという気持ちで、この膳所高校に入学しました。全ての事に全力で取り組み、その気持ちを最後まで持ち続けられたことは自分が達成したことの一つです。

私は、秋から始まる高校サッカー選手権大会に出場するためにサッカー班に入りました。三年生の春で引退せずに、夏の間もサッカーをできることはとても嬉しかったです。「夏を制するものが受験を制する。」とよく言われますが、サッカーが私の夏を制していました。そしてずっと目指してき

た秋の大会では、春の前回大会でも敗れた相手に再び負けてしまい、私の高校サッカー生活は終わりました。チームとしても自分としても、目標はもっと高かったので、やりきれなさで一杯でした。また、春で引退した仲間たちが応援に来る前に負けてしまった事もあって、本当に悔しかったです。それでもサッカー班の三年生と二年生、一年生が共に支え合いながら集中し、厳しい練習を積み重ね、大会に挑んだことはとても貴重な財産になり、ただ一つの目標に向かって、熱意を持ち続けることが出来た達成感を得ることが出来ました。同時に、目標が無くては、どんなことでも熱意を持つ

て続けることはできないということも感じました。また、明確な目標を持っていた同じサッカー班の仲間が練習後の疲れた中でも勉強に打ち込んでいる姿を見て、私も勉強に対してより本気で取り組もうと思いました。自分と比べて、彼らは精神的に強いと感じました。彼らによって、明確な目標を持つと自信を持って行動できるということに改めて気付かされました。

## 令和2年度 総会のお知らせ

会員皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

### 令和2年度 定例総会

(懇親会は中止)

●日時 令和2年5月17日(日) 午前10時  
(午前9時30分受付開始)

●場所 膳所高校4階大会議室

#### 総会式次第

●議事 一、令和元年度会務報告・部会報告  
一、令和元年度会計報告・会計監査報告  
一、令和2年度事業計画・予算審議

●講演 「技術者・研究者を目指す人に」

講師 辻井 栄作 氏  
(膳所高校26回 昭和53年卒業)

#### 講師のプロフィール

昭和53年3月	膳所高校 卒業
昭和59年3月	山梨大学大学院工学研究科修了
平成4年4月	理学化学研究所 研究員
平成5年9月	東京大学大学院 農学博士授与
平成11年9月	米国イェール大学医学部 留学
平成19年10月	アステラス製薬 感染症研究所 主任研究員
平成31年4月	京都大学 研究倫理・安全推進室

#### 要約

大学で発酵学を学び製薬会社に就職した。内外の研究機関で臓器移植に用いる免疫抑制剤や抗ウイルス薬の研究に携わり、その間、多くの人と出会いがあり支援を受けた。昨年から大学に移り生命科学への研究支援を担っている。

なお、同封のハガキは、総会に出席の方、住所等に変更のある方のみ返送下さい。

#### 〈総会開催についてのお願い〉

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が現実となり、総会の開催につきましても、今後の推移を見守りながら判断せざるを得ない状況ではありますが、三月末では右記のとおり懇親会を中止し、会場を変更して実施予定です。出席予定の皆様におかれましては、基本的な感染症対策を適切に行ってください。できるだけ公共交通機関でのご来場をお願いいたします。しかし、万が一さらに変更が生じた場合には、同封のハガキで出席を報告していただいた方に、別途連絡する予定です。

また、総会が開催できないような緊急時の決議につきましては、会則に則り処理させていただきます。ご理解ご了承の程よろしくお願いたします。

なお、同窓会ホームページも是非ご覧くださいませようお願いたします。

## ◆同窓生トピックス◆

このコーナーでは、各界で活躍されている同窓生の中から面白い話題を提供いただいた方々を取り上げていきたいと思ひます。今回は、自ら会社を起業し、昨年10月2日に東証2部上場を果たされた杉田昭吾（昭46卒）さんと石鹿文庫にご寄贈いただいた猪飼由利子（昭45卒）さんに寄稿をお願いしました。

### 『創業18年で東証2部上場をはたして』

#### 株式会社レオクラン

代表取締役 杉田昭吾（昭46卒）



私は勤務していた医療機器商社から独立し、2001年に大阪府吹田市（のちに摂津市に移転）に社員10余名で株式会社レオクランを設立しました。社名のレオクランは「獅子の一族」という意味で、狩猟型の最強の営業を目指してきました。従来の医療機器商社は、地域限定で消耗品を納入するだけの農耕型の会社が大半でした。そのような中で当社は、医療機関にかかわるコンサルティング業務を通して、新築・移転・再編のための企画・設計業務、医療情報システムの構築業務、機器の納入・保守業務まで一貫して行える事業ノウハウと人材を蓄積してきました。会社設立から18年、昨年10月に東証2部に上場することができました。医療の高度化や、国民医療費が肥大化の中で、我々の使命はますます重要になってきています。

私自身は、高校時代卓球班主将として、毎日古い体育館や狭いグラウンドで汗を流し、インターハイにも出場できて、充実した高校生活を送ることができました。このころの同窓生は今でも年に何回か集まりますが、今回の上場に際しても、社内外で深くかかわってくれている有り難い存在です。

起業家として一つのハードルは越えましたが、経営者として、東証2部上場は通過点でしかありません。ここに至るまで正道を歩んでこられたのは、遵義の精神を学んだ素晴らしい高校生活があったからだと思います。これからも膳所高校卒業生としての矜持を保ち、広く社会に貢献できる企業であり続けたいと思っています。



工事前の膳所駅（平成24年）



新しくなった膳所駅（令和2年2月）

## 膳所高校界限の今

## 『近江の小倉百人一首』

### 膳所高かるた班登場

猪飼由利子（昭45卒）

1970年卒、大津市出身。国語の教師として30年間県内の学校に勤め、2003年に退職。以後、「近江のよさを文学作品を通して紹介する」ことをメインテーマに活動をしています。



白洲正子著『かくれ里』では24章中8章に滋賀県を紹介しています。正子の訪ねた近江のかくれ里を追体験し、『湖国と文化』（滋賀県文化振興事業団発行）に、2006年から6年半連載し、2011年に『近江のかくれ里』（以下3作ともサンライズ出版）を出しました。

更に、1作目と同じく現地を訪ね、紹介する形で、2015年に『近江の芭蕉』では、芭蕉が生涯読んだ句981句のうち、近江で詠んだ句102句と県内に建立されている句碑61を扱いました。

そして、2019年には『近江の小倉百人一首』では、百人一首のうちの近江にちなんだ29首と関連地50を掲載しました。その中で「現在の取り組み」として、1982年に誕生した母校のかるた班に取材しました。

2017年の秋に、セミナーハウスの2階への階段の踊り場に「あと32日」と書かれた表示があり、これは近畿高等学校総合文化祭の大会まで、あと32日ということで、活動している和室の壁にはあと残り31日分、部員たちがそれぞれに記入した意欲をかき立てる言葉が添えられていました。部員へのインタビューでは、「入学前からかるたに親しんでいて、3年生が引退してから班の活動を引っ張ってきた。部員をまとめるのに、苦労している」と語り、「漫画『ちはやぶる』の世界と同じですね」と聞くと、「そのとおりです」と。部員の努力の甲斐あって、2017年秋の第37回近畿大会から部門で優勝を果たし、2018年には全国大会準優勝に輝きました。

私が母校を卒業して50年、母校のかるた班の活躍を拙書に残せたのは、ご縁というか出逢いというか、本当にうれしいことでした。

## 新しくなった膳所駅

JR（古くは国鉄）通学者の多くが利用する膳所駅。駅舎ロータリー共に長らく工事中でしたが、ようやく完成しました。

平成25年に工事が始まり、平成29年に南北連絡道路と新しい駅舎が完成しました。従来は、地上駅舎で改札からホームに行くためには地下通路を通る必要がありました。また、国道側（南側）には出入口がありませんでした。新しい駅舎は橋上駅舎となり、線路をまたぐ形の南北連絡通路が設置されました。南口もでき、国道側からのアクセスがよくなりました。平成30年には京阪膳所駅もリニューアルが竣工し、自動改札機が導入されました。

続いて平成31年3月には駅前ロータリーの工事が完了しました。車用のスペースが広くなり、歩道もタイル張りで道幅が広くなりました。

## ◆良友集い、母校を支援◆

### 今回は事務局の仕事を紹介します。

こんにちは！

同窓会事務局です。同窓会事務局では同窓生の皆さまの交流・親睦をスムーズに行えるよう様々な業務を行っています。

- ①同窓会開催（学年・クラス・クラブ・OB会）のお手伝い
- 宛名シールや名札の作成、校旗・校歌CDなどの貸し出し
- 幹事会を開かれる際の会場としてのセミナーハウス（遵桜館）・同窓会事務室の利用受付
- 周年同窓会を開催される学年にはお祝い金の準備
- ②入力業務
  - 名簿情報の更新（異動・訂正・物故入力）
  - 年会費入金管理
  - 同窓会ホームページのコンテンツ管理
  - ③各部会のお手伝い
    - 会員交流会・ゴルフコンペなどの案内・準備
    - 同窓会総会・同窓会理事会・同窓会役員会などの開催のための準備
    - 年会費未納者への依頼
    - JUNGI DO発行・発送準備



中山郁さん・神野綾子さん

同窓会に関するお問い合わせは同窓会事務局まで、お電話・郵便・ホームページのお問い合わせフォームにてどうぞ。

今後は南口側の整備（着手時期未定）が待たれます。見違えるようにきれいになった膳所駅とその周辺。より一層活気に満ちていってほしいです。

（昭60卒 雲 恭子）

昭和60年4月「湖南三分割」が行われた初めての一年生として入学。草津から自転車と電車を乗り継ぎ、膳所駅を経由し、そこから約15分早足で歩いて3年間通いました。現在の新しい校舎では、門を入るとすぐ校舎がありますが、当時は、右手に広がるグラウンドと左端に位置する体育館の間の長い道を奥まで進まないと、校舎に辿り着くことができませんでした。校内は土足だったので、幸い上履きに履き替える時間を考慮する必要はありませんでした。

平成28年の秋から半年間、膳所駅が最寄り駅の建物に毎日通う機会がありました。丁度その間に、膳所駅の建て替え工事が行われていました。工事は少しずつ施工され、立ち入り禁止区域がなくなってきたあかつきに、膳所駅は、大津駅側に大きく移動してしまいました。従来は地上駅舎で改札内に地下通路がありました。しかしながら、新生膳所駅では、ホームと改札は、線路をまたぐ形で上部に設置された連絡通路で結ばれ、エレベーターが設置されて、バリアフリーとなりました。ホームから改札を出た左手奥に、長いエスカレーターがあり、下りたところに京阪膳所駅の改札があります。また、京阪電車側を北口として、新たに南口が開設されました。

★開室のご案内  
開室日：月々金曜日（祝日は除く）  
時間：13:00～17:00  
膳所高校 1F 玄関横 小会議室内  
★販売しています

「公員名簿 平成30年（創立百二十周年記念）版」  
「創立120周年記念誌 平成10年度～平成30年度」  
「百年史 遵義の核、咲いて100年」

いずれも同窓会事務局にてご購入できます。郵送も可能です。ご希望の方は、TEL077-524-4295 までご連絡ください。



百年史



創立120周年記念誌

事務局長を退任された中頭さんより  
前任者の井上恵美子さんから事務局を引き継いで九年ほど、十月末をもって退任いたしました。長い間ありがとうございました。

思い出すことは、気がかりだった古い機器の名義（故人のお名前が二つ）を、大崎会長になった折、総務部長だった東郷さんの御尽力でそれぞれの遺族の方へご承諾を得、無事変更することが出来たことです。また、本当に大変だったのが百二十周年記念事業・春の選抜甲子園出場です。しよと想ってもできない良い経験でした。どれもみな、同窓生の皆様に支えていただいたお蔭です。感謝の一言につきます。本当にありがとうございました。

事務局は同窓生の皆様が気軽に利用できることをモットーにしています。これからも中山郁さん（昭59卒）、神野綾子さん（平3卒）のお二人が引き続き頑張っていくてくたさいます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

（中頭美代子）

事が行われていました。工事は少しずつ施工され、立ち入り禁止区域がなくなってきたあかつきに、膳所駅は、大津駅側に大きく移動してしまいました。従来は地上駅舎で改札内に地下通路がありました。しかしながら、新生膳所駅では、ホームと改札は、線路をまたぐ形で上部に設置された連絡通路で結ばれ、エレベーターが設置されて、バリアフリーとなりました。ホームから改札を出た左手奥に、長いエスカレーターがあり、下りたところに京阪膳所駅の改札があります。また、京阪電車側を北口として、新たに南口が開設されました。

3年間通った膳所駅で、今でも懐かしく思い出すのは、「つぎは、いしやま、いしやま」と、独特の節回りで、真摯に仕事と向き合い、自分らしさを表現する姿勢と意気込みを覚えていただきました。膳所駅を利用していることを幸運に感じ、誇りに思えるアナウンスでした。

（昭63卒 増井 詠子）

# 班活動の今昔

## ●吹奏楽班

吹奏楽班参与 本間 匡夫

吹奏楽班は現在1年生38名、2年生40名で活動している。吹奏楽コンクールと3月の定期演奏会を活動の軸に、様々な依頼演奏、アンサンブルなど活躍の幅は広い。



活動軸の一つである吹奏楽コンクールの過熱ぶりはメディアでも大きく取り上げられているが、本年度は県代表になることができ、関西大会では銀賞に、先日行われたアンサンブルコンテストでも同じく県代表・関西大会銀賞であった。同一年度で2大会とも関西大会に出たのは過去にほとんどなかった。私学や吹奏楽コースを設けている学校が増えている中で、他校に比べ練習時間が短いのがやるべきことを明確にし、班員同士が意見を話し合っ曲を作り上げていくことで聴衆や審査員に評価してもらえ演奏が出来る。

様々な演奏依頼があるなかで、今年度は同窓会で演奏の機会を頂いた。諸先輩の中で演奏することは班員の中でも特別な思いがある。「膳所高」にかける思いをより強くする機会となった。

毎年夏までは3年生も在籍しているのですが今年度は110名で活動をしている。班員が多いので、まとめることは大変だろうとよく言われるが、参与としてはあまり感じたことはない。人数が多いことで様々な問題が起こる可能性はあるが、班長・副班長で構成されている幹部が班活動の運営を、学生指揮とセクションリーダーで構成されている音楽幹部が音楽面を考え、それ以外にも様々な係がしっかりと仕事をしている。これは伝統が途絶えず、仕事の継承をしっかりと行っている生徒主体の班活動だからだと言えよう。「吹奏楽班に入りたいたいから勉強を頑張るって膳所高校に入学生した」という生徒も多くいるので、期待を裏切らない班活動にも関わらず、途中で退班する生徒が少なくなっているのは参与としてうれしい限りである。

もう一つの軸である、定期演奏会は毎年3月下旬に行っていて、近年は「びわ湖ホール大ホール」を使って開催している。毎年3年生は受験を終え、全員が戻ってくるが「戻ってくる場所があるから受験を頑張れた」との声をよく耳にする。過去の先輩方が積み上げてきたものをさらに発展させるべく、力を持った3年生と力を合わせた1・2年生が再結成するの足を運んでいただきたい。

今後ともあたたかいご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

## ●水泳班

水泳班参与 中川 咲子

水泳班は、シーズン中は武道場屋上にあるプールで練習し、オフシーズンは陸上トレーニングを中心に、身体作りをしながら活動しています。また、日々の練習では、選手自身が練習メニューを作成し、速く泳げるようになるために、自分で考え工夫することを大切にしています。

数年前に、特別予算で購入していた、SEIKOのバックプレート付きとび込み台を使用して、より本格的なスタート練習が出来るようになりました。2019年度は、男子7種目、女子は10種目で近畿大会に出場し、うち男子200m背泳ぎと女子50m自由形で、熊本県で行われたインターハイに出場しました。また、国民体育大会では、少年女子4×100mフリーリレーの第一泳者として、また少年男子4×100mメドレーリレーの第一泳者として出場し、男子は決勝8位の成績を収め、滋賀の水泳を盛り上げる一助となることができました。3年生が引退し、1、2年生だけで挑んだ秋季総体では、男子3種目、女子6種目で秋の近畿大会に出場を決め、うち女子50m自由形では決勝2位、大会新記録を樹立しました。

9月には毎年恒例で4高校合同記録会を行っています。近隣の4校(大津・石山・東大津・膳所)が集い、切磋琢磨しながら交流を深めることができ、選手のモチベーションとなっています。

現在、数年ぶりに少ない人数で活動していますが、地道に練習に励んでいます。今後も、一人でも多く近畿大会そして全国大会に出場できるように、目標を高く定めて練習を重ねていきます。しかし、現在の大きな課題として、冬場に泳げる場所の確保が挙げられます。近隣の温水プールはコースの貸し切りが出来ず、冬場は個人の自主練習に大きな比重があるのが現状です。そのような状況下でも、自分たちでトレーニングメニューを工夫しながら、春に泳ぐための身体作りと基礎体力を鍛えています。



卒班生が毎年プールに見に来てくださるなど、たくさんの方に見守られ、応援していただきながら活動できることに感謝し、日々自分で考え工夫する練習を続けていきたいと思っています。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

## ●ボート班創部120周年記念事業

石鹿艇友会 加藤 徳彦(昭55卒)

ボート班は、学校の創立と同時に発足し、昨年創部120周年を迎えた。ボート班には、石鹿艇友会という名のOB会があり、約700人のOBがいる。この会が中心となり、創部120周年の記念事業を進めていくことになった。本来ならば、昨年が記念の年であったが、創立120周年を迎えた学校本体の記念事業と重なることを避け、ボート班は1年遅らせた今年、記念行事等を行うこととした。

現在のボート班は、多いときで1000人の部員が活動し、艇やオールが常時不足しているため、石鹿艇友会としては、舵手付クオドルブルとダブルスカルの2艇を寄贈することを目標に募金活動を始めた。また、記念行事として、9月14日(土)午前に乗艇会やレース、午後から記念式典・懇親会を開催することを考え、約半年前から企画していった。

9月14日当日は天候にも恵まれ、滋賀県立琵琶湖漕艇場にOB約100人が集まり、同期や現役、先輩後輩と一緒にナックルフォアに乗り込み、湖上に艇を滑らせた。また、300mほどではあるが、有志でレースを行った。懐かしい顔がそろい、楽しいひと時を過ごした。そのあと、ロイヤルオークホテルに移動し、記念式典・懇親会が、小島秀樹校長先生にご出席をいただき盛大に開催された。記念式典においては、艇友会から、小島先生に寄贈艇の目録を贈呈し、懇親会では、スライド上映をして昔を懐かしんだ。ボート班、膳所高校の益々の発展を祈念し閉会となった。寄贈艇に関しては、目標にしていた300万円が集まり、来シーズンのはじめには進水できる目途がつけられている。現役諸君には、大切に使用して欲しいと願うばかりである。



## ●茶道班の指導にあたって

元指導者 井上 喜代子(昭43卒)

その道に入らんと思ふ心こそわがみながらの師匠なりければ、只々、

利休百首のその一です。何も知らない私が、この道に入ろうと思ったのは、只々、

友の「おいしいお菓子とお茶があるよ。」の甘い言葉に誘われたからでした。今を去ること55年の昔々のことです。その後、紆余曲折ありながら、裏千家茶道の茶名をいただくことができ、2006年春から茶道班のお手伝いに携わることになりました。



一年生はまず、割稽古(お辞儀のしかた、帛紗の扱い方など)から始め、盆略点前をくり返し稽古いたします。三学期には千歳盆へと進み、二年生になると風炉の薄茶点前に進みます。柄杓の扱い、お道具拝見など基本の稽古を繰り返し、開炉の11月からは炉の薄茶点前となります。七月の湖風祭のお点で出しで腕をあげ、おいしいお薄が点てられるようになるのも嬉しいことの一つです。

膳所神社前の常磐堂の季節の和菓子と一服のお茶に、今も昔も心を和み、ほっこりします。

2019年春までの13年間、若い皆様方と茶道を通して関わり合うことができたのは、私にとっかけがえのない時間であったと感謝しております。



(左) 山崎博子さん(昭35卒) (右) 檜垣美智子さん(昭40卒)

お二人は昭和43年卒の者たちに野口治子先生と共に指導にあたってくださった方です。お菓子とお茶のやさしさ、凛とした先輩にあがれて大勢の女子生徒が集いました。現在も茶道班を指導していただいています。(卯田 記)

# 周年同窓会

## 65周年記念同窓会(東二会)

(東高第2回 昭和29年卒業)

卒業後はや65年が過ぎた。毎年開催していた東二会の同窓会は本年をもって終了することとなった。最後の同窓会は令和元年11月11日にプリンスホテルにて行った。出席者は53名であった。まず先立つた200余名の友人に黙祷を捧げた。幹事代表の挨拶には「徐々に和やかな雰囲気となり、初めにシャンソン歌手ソラさんの歌を聴きその後、各テーブルで話しがはずみ出し食事も楽しかった。食後は歌好きの友人が次ぎ次ぎと歌い出し、あちこちより口づきむ楽しい歌が聞こえる。いまは、お世話になった先生方も誰も居られないが、高校時代の授業中の先生の話や部活で活躍したこと等思い出深い話題が各テーブルで溢れた。高校時代の頑張りや楽しかったこと等はお互いに忘れることなく、現在も後輩達が各部活で活躍していることを嬉しく思う等話はずきない。最後の東二会同窓会となり淋しくなるが、お互いに80歳を越えた身体をいとい元気でいて、希望者だけでも集まる機会を持つとうとの意見が出ていた。東二会の同窓会を解散するのはのびなかつたが、最後に出席者みんなで「琵琶湖周航の歌」を歌い閉会となった。



前回は(1964年)東京オリンピックの年の3月に卒業した我々は55周年記念同窓会を「びわこホテル・瑠璃の間」に於いて102名の参加のもと、7月7日(日)に開催を致しました。当日は南九州豪雨被害をもたらした梅雨空に太陽が顔を出すまじまずの天候で、受付が始まると各地からの面々が次々と参集します。開会前に写真室にて全員の集合写真の撮影後宴会場へ移動。式典の閉会を「山田誠一幹事長」が告げ、引き続き全員で校歌斉唱、天国に旅立った物故者への黙祷を捧げ、開会の挨拶は「河原林晋実行委員長」なるべく簡単なはずがかなり長めの言葉となりました。最後に今回唯一人の出席恩師「舟橋明男先生」を紹介し、先生から近況などのご挨拶をいただき第一部式典は終了。続いて司会進行を「大平順一」氏に任せて懇親会の開会となりました。乾杯は「松平智康実行委員長」が声高らかに「和やかな食事と歓談の宴席となりました。卒業以来初めての人、5年振りの顔、久しぶりの面々。家族の近況や自身の体調・病氣・薬の自慢話、他界した級友の話など話題は尽きません。宴半ばでは石山在住の若き兄妹による津軽三味線の演奏に耳を傾け後半には全員で在学当時流行った青春歌謡を合唱しそして昔を語り合い楽しいひと時を過ごしました。

## 60周年記念同窓会

(膳所高7回 昭和34年卒業)

厳かな令和元年天皇陛下御記念儀式の週11月17日琵琶湖ホテルで「これからも元気で楽しく」をスローガンに開催しました。

現在91歳でご健在の恩師・村田辰夫先生をはじめ遠方から参加してくれた仲間を迎え97名が揃って記念撮影をしました。

続いて式典が始まり、お願いしました在校生「吹奏楽班47名と顧問の本田匡夫先生の指揮のもと「千の風になつて」の演奏で物故者の追悼を行い、「ふるさと・高校3年生・レッツダンス(演奏のみ)・365歩のマーチ・花は咲く・上を向いて歩こう」そして全員起立して歌った校歌斉唱の八曲でした。丁度5年前母校の見学会で在校生と一緒に歌った感動を甦らさせるひと時でもあり、澁淵とした若者の演奏する姿から若いエネルギーをもらった幸せな時間でもありました。この様に心温まる場を下さった班員の皆様には、伊藤靖彦会長から謝意



を表しました。

バンド演奏の次に行われた「広角スライド」シヨウは、私達の入試合格発表の新聞記事に始まり、入学時の正門から望む校舎風景・在学時代の運動会仮装行列や各種行事・九州修学旅行や卒業アルバムの写真また卒業後から今日までの同窓会開催写真等の説明入りで、和気あいあいの回顧で談笑の場となりました。

続いて宴会に入り、恩師村田辰夫先生のご挨拶「88歳が峠でありそれぞれが目標を持って頑張りなさい。お互いに知恵の交換を行うことも良い機会作りです。」との貴重な教訓を頂きました。美味しい料理と美酒が進む程に時間の経過を忘れ話は尽きず旧交を温めました。最後に「琵琶湖周航の歌」を全員一つの輪になり肩を組み合い「万歳三唱」で幕を閉じました。閉会の挨拶で次年度そして65周年記念同窓会の開催を約束しました。

心をひとつにしてくれた吹奏楽班の皆様、多くの仲間の参加等を得て、感慨深い一日を過ごすことが出来ました。さすが我が母校 感謝!! (井上晴雄)

## 55周年記念同窓会

(膳所高12回 昭和39年卒業)

前回は(1964年)東京オリンピックの年の3月に卒業した我々は55周年記念同窓会を「びわこホテル・瑠璃の間」に於いて102名の参加のもと、7月7日(日)に開催を致しました。当日は南九州豪雨被害をもたらした梅雨空に太陽が顔を出すまじまずの天候で、受付が始まると各地からの面々が次々と参集します。開会前に写真室にて全員の集合写真の撮影後宴会場へ移動。式典の閉会を「山田誠一幹事長」が告げ、引き続き全員で校歌斉唱、天国に旅立った物故者への黙祷を捧げ、開会の挨拶は「河原林晋実行委員長」なるべく簡単なはずがかなり長めの言葉となりました。最後に今回唯一人の出席恩師「舟橋明男先生」を紹介し、先生から近況などのご挨拶をいただき第一部式典は終了。続いて司会進行を「大平順一」氏に任せて懇親会の開会となりました。乾杯は「松平智康実行委員長」が声高らかに「和やかな食事と歓談の宴席となりました。卒業以来初めての人、5年振りの顔、久しぶりの面々。家族の近況や自身の体調・病氣・薬の自慢話、他界した級友の話など話題は尽きません。宴半ばでは石山在住の若き兄妹による津軽三味線の演奏に耳を傾け後半には全員で在学当時流行った青春歌謡を合唱しそして昔を語り合い楽しいひと時を過ごしました。



## 50周年記念同窓会

(膳所高17回 昭和44年卒業)

平成が終わって、1か月経った令和元年6月1日に、琵琶湖ホテルで開催致しました。私たちの学年が、周年記念同窓会をスタートしたのは、30周年記念同窓会です。琵琶湖ホテルが新築された年でした。記念すべき50周年はやっぱり琵琶湖ホテルで、ということ今回琵琶湖ホテルでの開催になりました。

その後、5年ごとに開催してきました。残念ながら、35周年、40周年、45周年と、少しずつ出席者が減り、今回は100人の大台を割るのでは、と心配しながら準備を進めておりました。幸い、過去最高の145名のご出席を頂き、ホッとしております。50周年で初めて出席された方も数名あり、彼、彼女のまわりには、多くの人の輪ができて、50年ぶりの再会に大いに盛り上がりました。いつもは、3年生のクラスをもとに席を決めていたのですが、今回は、2年生のクラスで席を決め、好評でした。(笠 正人)



## 50周年記念同窓会

(膳所高18回 昭和45年卒業)

2月9日 11時から琵琶湖ホテルで、卒業50周年記念同窓会が開催されました。

恩師の八木敏雄先生、嶋寺洋基先生のお二人も元気にご参加くださり、同窓生129名が集い楽しいひと時を過ごしました。

全員での記念写真撮影後、開会し、八木先生の乾杯のご発声により、会食と懇話が始まりました。クラスを中心に集まったテーブルごとに近況等を話し込んでいきました。途中お二人の先生方からご挨拶をいただき、当時の授業風景等を思い返すことができました。



続いて、10クラスがそれぞれに写真撮影を行い、その後は恒例の「草津線グループ」、「江若登校組」、「班活動別」など、思い思いに記念写真を撮っていききました。

今回初めての企画として、山下実行委員長とのじゃんけんゲームによるお楽しみ抽選会を行いました。「琵琶湖ホテルランチペアチケット」や「東京オリンピックピックバラリンピックグッズ」などが景品とあって大変盛り上がりました。結びは、応援団員であった三津川君のエルに続き、校歌斉唱です。三津川君によると「校歌を3番までするのはしんどい・・・」でした。

同会場で行われた二次会には、96名が参加し、カラオケを歌うものや酒を酌み交わす者など思い思いに楽しんでいました。三次会、四次会もあったようですが、再会を誓って散会しました。

今回は、3年後を予定しております。より多くの同窓生が集えるようお声かけをお願いします。(谷川尚己)

## 45周年記念同窓会

(膳所高22回 昭和49年卒業)

昭和49年3月卒業、第22回卒業生一同は、令和元年8月12日に琵琶湖ホテルにおいて、卒業45周年記念同窓会を開催しました。当日は恩師の先生方7名と小島現校長先生にご出席いただき、総勢156名の参加者で大いに盛況となりました。

最初に20周年同窓会を開いてから還暦クルーズを含めて今回で6回目、卒業45年ともなると、多くの同窓生が定年を過ぎ、新しい仕事にチャレンジする人、リタイア後を悠々自適に過ごす人、趣味に勤しむ人、現役時代の滋賀から離れた生活から滋賀に戻って新たな生活を始めた人、時間の余裕ができたので初めて参加した人など、一次会だけでなく、二次会、三次会と、現役時代とは少し違うゆったりとした気分、夜遅くまで、旧交を温めることができました。

当日は台風10号が日本に接近したこともあって、「新幹線は動くだろうか」と、遠くからの参加者の心配をしましたが、準備にあたった幹事の日頃の行いがよかったのでしょう。お天気も良く、無事開催することができました。

5年前、40周年記念同窓会を開催してからは、5年後の開催を目指して、地元メンバーを中心に、何かと理由を付けて集まり(会議とは名ばかり、ほとんど飲み会が中心だったような)、準備をすすめてきました。井上亮治幹事長の「同窓生の参加150人超え」を目標に、これまで参加していない人にも積極的に声をかけました。残念ながら、直前のキャンセルなどで、最終的には148名の参加、目標を達成できなかったことが大いに心残りとなりましたが、この5年の準備をとおして、若い時よりも同窓生の絆がより深まったように思います。

次は50周年。神山等君を次期幹事長に指名し、「参加者200人超え」を目標に、次の再会を誓いました。最後に今回の同窓会成功にご尽力いただいた多くの方々、膳所高校同窓会本部の皆様、心より感謝と御礼を申し上げます。(國松元二)

## 40周年記念同窓会

(膳所高27回 昭和54年卒業)

2019年5月5日(日)、琵琶湖ホテル「瑠璃の間」にて卒業40周年記念同窓会を開催しました。参加人数は150名で、加えてまだまだ若々しい羽野・岩越両先生のご臨席を賜りました。正午からの同窓会開催に先立ち、午前中には約40名の参加を得て母校にて模擬授業と見学会を行いました。模擬授業では、膳所高で教壇に立った経験のある3名の同級生(門坂・神田・田井の各氏)が、楽しくて為になる話をしてくれ大いに盛り上がりました。校舎の見学では、教室や職員室等を見せていただきました。かつては職員室前に実力テストの上位成績者の名前が張り出されていましたが、今ではそういう時代ではないとの説明を受けました。



同窓会では、今回は2年生のクラス毎に着席することとしましたが、時間の進行と共に皆さん入り乱れ、立つて話すやら同じ椅子に2人で座るやら、心の垣根を取り払って懐かしい話に花を咲かせました。2階「ロースの間」に会場を移しての2次会でも110名を超える参加があり、じゃんけん大会などでステージが盛り上がる一方で、テーブルにかじりついて何やら難しい議論に励む連中もいたりして喧嘩のうちに時間が過ぎていきました。結局、正午から始まった同窓会は2次会まであわせて午後6時まで続き、さらにその半数以上は同級生の浜辺さんがやっているフラインゴでの3次会へと流れていきました。



私たちの代の同窓会は25周年から5年ごとに開催しており、これが4回目となりました。毎回150名ほどの同級生が集まってくれていますが、これは1年前から幹事会を組織し、各クラスの幹事さんが名簿の整理（最新の住所確認）をしていくという地道な努力があつてのことです。今回の45周年の時には還暦を過ぎ、暇をもてあましている同級生も増えてくる頃かと思われ、さらに参加人数が増えることを期待して準備を進めたいと考えています。これからも膳所高同窓生の絆を大切にしていきたいと感じています。

(大田伊久雄)

### 35周年記念同窓会

(膳所高32回 昭和59年卒業)

パリでパフォーマンスもされている書道家の松沢麻美さんがジャンプして「くく高等学校昭和59年卒業35周年記念同窓会」の看板に大きく「膳所」と筆を走らせる。度肝を抜かれ、令和2年1月2日11時30分、びわ湖大津プリンスホテルで私たちの同窓会は122人と恩師の方々で始まりました。「1年次や2年次のクラスの人たちともゆつくり話したい。」前回同窓会での声を受け、3年次のクラスでの席割で開宴したのち、途中で2年次のクラスへと席替えしました。「誰だっけ」。顔と名前が一致しませんでした。自己紹介で声を聞き始めると昔の記憶が頭を駆け巡り、あつという間に36年前のクラスの風景となりました。2年次と3年次の恩師から10名の先生方にご参加いただきました。高校時代は随分と大人に見えましたが、35年後には同窓生よりもお若く見える先生も。歳月の過ぎるのは面白いものです。今回の開催は令和7年の正月を予定しています。



(中山雅文)

### 30周年記念同窓会

(膳所高37回 平成元年卒業)

2020年1月4日に平成元年卒30周年記念同窓会が

琵琶湖ホテルで開催されました。重田みち子先生、西村紀代美先生、玉木欣章先生、古川正治先生の4名の先生方と同窓生59名が参加し、賑やかな会になりました。重田先生の乾杯で開会し、同窓生が順々に壇上で一言話すりレイトークで近況を報告したり、思い出を振り返ったりしました。先生方にもそれぞれ現在のご様子などをお話していただきました。



(林 潤)

### 25周年記念同窓会

(膳所高42回 平成6年卒業)

1月3日、令和初の新春の空の下、琵琶湖ホテルに5人の恩師と111人の同級生が集い、卒業25周年記念同窓会を開催しました。高校同窓会からご支援いただき周年同窓会は初開催ということもあって、再会を喜び合う声があちこちに沸き起こり、会場は一気に18歳当時の空気に包まれました。タレント揃いでもある我々の代らしく、冒頭には2期8年に亘って大津市長の重責を果たされた越直美さんからご挨拶があり、ほつとした表情を垣間見ることができました。また、吉田ケイの名でバンド活動をされている吉田桂子さんのライブ、パフォーマーとして世界中で活躍されている池田洋介さんによるステージと続き、盛り上がりは最高潮に達しました。



「僕はひとりじゃない。僕は世界を変えられる。」池田さんのパフォーマンスのメッセージの通り、頑張っている元同級生の今の姿に、皆が背中を押された気分だったはず。この繋がりを大切に、次回また元気にお会いしましょう！

(大西徹也)

### 15周年記念同窓会

(膳所高53回 平成17年卒業)

平成17年に膳所高校を卒業した我々は、卒業15周年を記念して2020年1月3日にホテルグランヴィア京都にて、学年同窓会を行いました。当日は7名の先生方と、約70名の同窓生が集う同窓会を開催することができました。受付会場では、同期との久しぶりの再会で大いに話が弾み、先生方が到着されるとさらにその盛り上がりが大きくなりました。まず、開会前に全体で集合写真を撮影し、その後、先生方からご挨拶を賜り、同窓会がスタートしました。

当日は先生方のテーブルを囲うような立食パーティー形式をとりました。先生の席の周りにはたくさん同窓生が

集まり、先生は次から次へと出されるお酒に少し大変だったかもしれせん。また、同窓生同士も近況報告や高校時代の話など話題が尽きず、あつという間に時間が経ってしまいました。ふと時計を見るともう終宴の時間が迫っていることに気づき、楽しんでる時間の経つ速さを実感しました。大変寒い日でしたが、先生方や同窓生と楽しい時間を過ごせたことで、心の中は大変温まりました。また次回の学年同窓会で、先生方や同窓生との再会を楽しみにしています。



(高橋春弥)

### 10周年記念同窓会

(膳所高58回 平成22年卒業)

新年早々の1月3日、私ども平成21年度卒業生が卒業10周年の節目を迎えるに際し、ホテルグランヴィア京都「源氏の間」にて、学年同窓会を開催いたしました。当日は、5周年の時に迫る約230名の同窓が全国から集いました。また、恩師の先生方にはご多用の折にもかかわらず、森先生、門坂先生、松井先生、野々村先生にご出席いただきました。



森先生による乾杯の音頭に始まった歓談の時間は、美味しい料理や大抽選会に彩られ、大変盛り上がりを見せました。卒業から早10年が過ぎ、それぞれの道で活躍している同窓たちの姿は、互いにとって良き刺激となったのではないかと思います。今後も私も同窓437名は、生涯の仲間として交流を続けていくものと確信しております。最後に、同窓会を開催するにあたり、多大なお力添えをいただきました。同窓会事務局の皆様、恩師の先生方、そしてホテルグランヴィア京都の皆様から感謝申し上げます。

(青山誉秘)

### 5周年記念同窓会

(膳所高63回 平成27年卒業)

2020年1月2日、ホテルグランヴィア京都にて、卒業5周年記念同窓会を開催させていただきました。先生方9名と卒業生約250名が集う、大変にぎやかな会となりました。

旧友と高校時代の懐かしい思い出に浸り、ビンゴ大会で盛り上がり、と会場は終始華やかな雰囲気。に包まれながら会は進行し、楽しい時間はあつという間に過ぎていきました。学生として学問に励ん



でいる人、社会人として働き始めている人など、皆それぞれの道を進んでいる中、このような機会に集まることのでき、とても嬉しく思います。次回の卒業10周年記念同窓会で、また集まれることを楽しみにしております。

(猪飼更紗)

## 記念同窓会

### 尚齒会

(膳所中39回 昭和16年卒業)

令和元年十月二十七日あみ定で昭和十六年度卒業尚齒会開催互いに辛若の体験談は尽きることなく閉会まで続いた。

(長谷川良治)



### 最終同期会

(大津高1回 昭和25年卒業)

昭和19年に膳所中学や大津の公立女学校に入学した私達は、軍事教練や薙刀の稽古でしごかれた最後の学年です。翌年4月に入学した一年下の生徒は、教練の教官が徴兵されたり、運動場がイモ畑になったりしたから、教練や薙刀の授業はなくなりました。膳所では二年生以上が軍需工場に動員されたから、彼らは上級生が一人もいない校舎で小学校の延長のようなことをやっていました。

この頃になると、大阪や神戸を攻撃するB29の大編隊が、日本の戦闘機が飛ばない大津の夜空を毎晩のように通り過ぎて行つたし、やがて艦載機のグラマン戦闘機が昼間、滋賀航空隊の兵営を機銃掃射するようになりました。敵の艦船が紀州沖まで来ていたのです。私達は本土決戦を覚悟しました。

日本が降伏したので本土決戦は避けられましたが、今度は民主主義という初めて耳にする言葉に、私達は戸惑いました。生徒が自主的に自治会（生徒会）をつくらうとしたが、民主主義に則った自治会など見当もつきません。教師に訊いても、「人民の人民による人民のための政治が民主主義だ」と答えるだけで、それ以上は言いません。そのため一年から五年までの学級委員が連日、議論を重ねて、数ヶ月かかって自治会を立ち上げました。

戦中戦後にそんな経験をした私達も当年とつて87歳、男子の半数以上、女子の3分の1以上が他界し、生存者も歩行困難の者が多いので、これを最後の同期会にしましたが、淋しい集いでした。



(後記) 敗戦前後の膳中のことを書いた拙著『やんちゃ坊主伝 戦中戦後篇』が膳所高の石鹿文庫に寄贈してあります。一読頂ければ幸いです。(高橋 勉)

## 喜寿記念同窓会

(膳所高9回 昭和36年卒業)

私たち昭和36年9回卒業生は3年前の卒業55周年同窓会が未だ心に残るなか、令和元年10月15日琵琶湖汽船の豪華遊覧船「ピアンカ(3階クワウド)」を貸切り、12時から126名が集い、ご来賓として大崎悦男同窓会会長のご臨席を戴き開催致しました。



中江絹子さんの総合司会により、校歌斉唱に続いてすでに鬼籍に入られた恩師並びに同窓生93名のご冥福を祈って黙祷を捧げました。幹事を代表して松村文夫君の挨拶に続き来賓の大崎悦男様から心温まるご祝辞を頂戴しました。その後一番遠方(北海道)から参加の中川忠昭君の乾杯発声で宴が始まりました。この歳になって初めての参加者もあっていつもの懐かしい昔話や近況などに花が咲きあちこちでの談笑も絶えず、また各テーブル毎の記念撮影など楽しいひと時を過ごすことが出来ました。また、お楽しみ抽選会では一喜一憂その後船上いっばいに大きな輪になって田附宏秀君のリードで琵琶湖周航の歌を大合唱、最後に嶋田勲君の万歳三唱、谷口英信君の中締め挨拶で第一部をお開き。比良からの微風、湖面は少し白波、でも天候に恵まれ「ピアンカ」は3時間南湖からびわ湖大橋をくぐり抜け快適なクルージング、湖上からの素晴らしい景勝に改めて感動しました。

浜大津港に接岸後、全員参加のもと2階ホール＆サングラスの会場へ移動し第2部をスタートしました。時の流れを忘れての5時間に及ぶ喜寿記念同窓会、多くの同窓生の協力で楽しく終えられましたこと感謝です。

次回は2年後、卒業60周年記念同窓会をより多くの参加者を得て開催できますことを希望します。(若代修男)

## 47周年同窓会

(膳所高20回 昭和47年卒業)

秋も深まった11月3日、世話人代表の大沼康三氏の急死という思いがけない出来事もあったが、世話人一同ワンチームになって4年ぶりに琵琶湖ホテルにて卒業47周年の同窓会を開催した。今回は布留川祐作先生、八木敏雄先生をお迎えし、参加者90余名の和やかな会となった。昔と変わらずユーモアたっぷりの先生方のご挨拶に、いっぺんに高校時代に戻った気分だった。

今回も座席は休憩を挟み、前半は1年次、後半は2年次のクラス別にし、懐かしい昔話に花が咲いた。また30秒スピーチでは、60代半ばを過ぎた現在の暮らしぶりが披露され、各々が健康に留意しつつ、仕事や趣味、家族との生活を



楽しみ、日々感謝しながら老後の生活を模索している様子が語られた。次回は卒業50周年を迎える3年後、元気で再会することを約束して閉会した。(三十木和子)

## 成人式同窓会

(膳所高66回 平成30年卒業)

令和2年1月13日に平成30年卒業66回生同窓会をびわ湖大津プリンスホテルにて開催しました。356名の卒業生と14名の恩師の方々の計370名に参加していただき盛大な同窓会を開催する事ができました。



高校卒業後異なる進路を進んでいますが、3年間共に過ごした高校時代の恩師、仲間との再会はどこか心がホッとするような、温かい気持ちにさせてくれる濃い時間となりました。久しぶりに会う友達、恩師の方々とは思い出話に花が咲き、3時間があっという間に感じました。たくさん笑顔を見ることができ、大変嬉しく思いました。

当日参加できなかった方も含め、次の5周年同窓会でも皆様とお会い出来る事を楽しみにしております。参加して下さった恩師の方々、第66回生の皆、同窓会幹事、プリンスタッフの方々、ありがとうございました。(西居明花)

## 周年記念同窓会 予告

### 55周年記念同窓会

(膳所高13回 昭和40年卒業)

日時 令和2年9月22日(火・祝) 12時  
場所 琵琶湖ホテル  
会費 12,000円  
連絡先 永味幸雄 (TEL090-399899451)  
Mail: nyukio-630@ezweb.ne.jp

### 50周年記念同窓会

(膳所高19回 昭和46年卒業)

日時 令和3年3月19日(金) 午後3時  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
会費 10,000円  
連絡先 水谷 正 (TEL090-18910527)

### 45周年記念同窓会

(膳所高23回 昭和50年卒業)

日時 令和2年10月18日(日)  
12時受付 12時30分開宴  
場所 琵琶湖ホテル  
会費 10,000円  
連絡先 姜(カン)永根 (TEL090-58947769)  
Mail: kang@life-history.jp

### 35周年記念同窓会

(膳所高33回 昭和60年卒業)

日時 令和3年1月2日(土) 11時受付 12時開宴  
場所 琵琶湖ホテル  
会費 10,000円(予定)  
連絡先 澤 博史 (TEL080-57048869)  
中江法子  
Mail: swh1024sdyok@gmail.com (澤 nono2248@gmail.com (中江))  
詳細についてはまた、別途案内します。

### 15周年記念同窓会

(膳所高54回 平成18年卒業)

日時 令和3年1月2日(土)  
場所 ホテルグランヴィア京都  
会費 9,000円(予定)  
連絡先 山本 聡 (TEL090-70974211)  
その他、詳しくは、後日連絡します。

### 新成人記念同窓会

(膳所高67回 平成31年卒業)

日時 令和3年1月11日(月) 13時開始(12時受付開始)  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
会費 10,000円  
連絡先 中田継太 (TEL090-21077165)  
Mail: nakatanao3@yahoo.co.jp

### バスケットボール班OB・OG会創立七十周年記念行事

日時 令和2年8月29日(土) 午後2時  
場所 びわ湖大津プリンスホテル  
連絡先 平井和博 (TEL090-10249596)  
Mail: kazui6@ares.eonet.ne.jp

## 同窓会事業のご案内

- ①第25回(令和2年度)ゴルフコンペ  
と き 令和2年9月21日(月・祝)  
ところ メイプルヒルズゴルフ倶楽部 甲賀市信楽町田代65  
スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート  
競技方法 ダブルペリア方式による18ホールストロークプレー  
プレーヤー費 キャディー付14,000円  
セルフ10,500円  
会費 2,500円  
募集人数 40組
- ②第6回会員交流会  
〜明智光秀ミュージアムと福知山城の旅〜  
日時 令和2年7月4日(土)  
定員 35名  
参加費 6,000円(当日徴収します)  
申込×切 6月19日(金)  
①②とも申込先 同窓会事務局 (TEL077-5244295)  
定員になり次第締切です。又、同窓会の年会費納入者に限定させていただきます。参加当日、納入も可能です。

## 事業部会報告

### ◆第5回会員交流会 知多半島と日間賀島をめぐる旅

7月6日朝 空はどんよりとして天候が危ぶまれましたが、38名の参加者が大津駅前を出発し三重県へ向かいました。



知多半島を南下し、目的の日間賀島へはカラフルな高速船でアツという間に到着。港からはマイクロボスで山頂のホテルへ。お目当ての昼食には皆様大満足でした。生のシャコや一匹まるまるの煮蛸や生シラスの釜揚げ、蛸しゃぶに生の車エビ、と鮮魚と貝のオンパレードでした。本当に美味しかったです。締は蛸飯、デザートはグレープフルーツゼリーは口直しにとでも合っていました。食後は話しかつ飲み、時間が足りずに延長していただきました。また昭和20年卒の大先輩の健康ぶりには関心しました。流石膳中！ホテルを出るころにはすっかり晴れ、帰りの船は青空のもと知多の海の景色を楽しむことが出来ました。満腹で眠気が襲ってきましたが、最後の魚市場でもしっかりと買物をして、帰途につきました。本当に満腹、満足の交流会でした。来年も楽しみにしています。

### ◆第24回(令和元年度)ゴルフコンペ

9月16日(月・祝)メイプルヒルズゴルフ倶楽部にて第24回膳所高校同窓会ゴルフコンペが開催されました。心配された暑さもなく、雲の間から薄日が差し込むゴルフ日和となり、40代から80代の方、計136名が参加されました。ゴルフはもちろんですが、旧友との再会、学年を超えた交流に和やかなひとときを楽しみました。(主な結果)

- 個人優勝 富増 克巳様(昭46卒)  
準優勝 平田 真人様(昭53卒)  
3位 若吉 浩二様(昭55卒)
- 団体優勝 昭和46年卒  
準優勝 昭和47年卒  
3位 昭和55年卒
- その他、ニアピン賞、ドラゴン賞、ベストグロス賞などたくさん賞が発表され、会場は歓声で大変な盛り上がりを見せました。
- 次回も多数のご参加をお待ちしております。

## 膳所高卒業寄贈図書「石鹿文庫」

著者名	書名・巻次(版次)
いかいゆりこ 著	● 近江の小倉百人一首
葛城貞三 著	● 難病患者運動
日本読書学会 編	● 読書教育の未来
舟橋秀晃 著	● 言語生活の拡張を志向する説明的文章学習指導
岡田明彦 著	● カヌーでめぐる湖III
岡田明彦 著	● カヌーでめぐる湖IV
水口直樹 著	● 僕は偽薬を売ることになった
藤井 敏 著	● 数学 峠の茶屋
長尾 真 著	● 桑天知命
渡辺俊経 著	● 甲賀忍者の真実

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。  
「石鹿文庫」は同窓生の著書を集めた文庫です。

# 令和元年度同窓会会務・会計報告・令和2年度同窓会総会提出議案

## ◆令和元年度(平成31年度) 同窓会会務報告

### 2019年(令和元年)

- 4月 15日 第1回役員会
- 20日 JUNGIDO第36号発行(27,299部発送)
- 24日 役員選考委員会
- 26日 平成30年度同窓会会計監査(同窓会事務局)
- 5月 19日 令和元年度同窓会総会(琵琶湖ホテル) 101名参加
- 6月 22日 第2回役員会
- 7月 6日 第5回会員交流会(知多半島と日間賀島をめぐる旅) 38名参加
- 8月
- 9月 16日 第24回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 136名参加
- 10月 25日 会費納入再度のお願い
- 11月 24日 第3回役員会
- 12月

### 2020年(令和2年)

- 1月
- 2月 1日 第4回役員会
- 28日 同窓会入会式
- 3月 1日 第68回膳所高等学校卒業式(令和元年度)
- 28日 令和元年度同窓会理事会(膳所高校大会議室)中止、臨時役員会  
JUNGIDO第37号編集会議(計4回開催)  
会費納入方法検討会議(計8回開催)

### 令和元年度(平成31年度)開催 周年・クラブOB会

- 5月 5日 昭和54年卒40周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 150名参加
- 6月 1日 昭和44年卒50周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 145名参加
- 7月 7日 昭和39年卒55周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 102名参加
- 8月 12日 昭和49年卒45周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 156名参加
- 11月 3日 昭和47年卒47周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 90名参加
- 11月 11日 昭和29年卒65周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 53名参加
- 17日 昭和34年卒60周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 97名参加
- 1月 2日 昭和59年卒35周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 132名参加
- 2日 平成27年卒5周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都) 259名参加
- 3日 平成6年卒25周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 116名参加
- 3日 平成17年卒15周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都) 70名参加
- 3日 平成22年卒10周年記念同窓会(ホテルグランヴィア京都) 230名参加
- 4日 平成元年卒30周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 63名参加
- 13日 平成30年卒新成人記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 370名参加
- 2月 9日 昭和45年卒50周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 129名参加

## ◆令和元年度 同窓会会計報告(平成31年4月1日~令和2年2月29日)

### 一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	2,299,232	2,299,232	0	
前受会費(元年度分)	3,369,000	3,369,000	0	会費会計より振替
令和元年度会費	3,000,000	3,529,000	△ 529,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,300,000	1,284,000	16,000	新規同窓会入会金
名簿会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	
雑収入	600,000	458,238	141,762	受取利息、ブック代、寄付等
合計	12,568,232	12,939,470	△ 371,238	

### 《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	600,000	97,206	502,794	
会議費	150,000	71,268	78,732	理事会、役員会
交際費	30,000	8,240	21,760	
通信費	700,000	581,030	118,970	会費納入用紙代、郵送料、印刷代等
旅費交通費	50,000	20,700	29,300	役員会
支払手数料	230,000	301,261	△ 71,261	会費納入手数料、各種支払手数料
雑給与	1,400,000	1,170,140	229,860	
コンピューター関係費	25,000	38,826	△ 13,826	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	50,000	53,295	△ 3,295	コピー用紙
備品・消耗品費	220,000	90,396	129,604	複合機用紙、入会証用紙
広報発行費	1,400,000	1,210,345	189,655	[JUNGIDO] 36号発行
広報発送費	2,200,000	2,095,492	104,508	広報封入封緘、広報送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座・グローバル研修助成
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	10,000	40,000	
周年同窓会祝い金	600,000	600,000	0	
各部会費	800,000	709,132	90,868	
広報部部会費		10,000		
事業部部会費		536,358		会員交流会、ゴルフコンペ
総務部部会費		162,774		会費納入再依頼
予備費	1,898,432		1,898,432	
合計	12,568,232	9,222,131	3,346,101	

差引現在残高 3,717,339 (12,939,470-9,222,131)

### 特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	919,476	
寄付	40,951	昭25卒同窓会より
利息	8	8/9 2/7
合計	960,435	

《支出の部》 残高証明手数料 432 (4/2)  
差引現在残高 960,003

2月末の決算後(3/5)に昭和53年卒の会員様より1,000,000円のご寄附をいただきました。

## ◆同窓会財産目録(R2.2.29現在)

### I 一般会計及び会費会計 合計

◇郵便局	◇滋賀銀行		
定額貯金 1口 6,022,000円	本店 普通預金 243,995円		
郵便振替 1口 1,647,089円	膳所支店 普通預金 3,454,957円		
郵便貯金 1口 1,034,887円			
◇関西みらい銀行 びわこ営業部 普通預金 185,456円			
◇事務室現金 128,955円			計 12,717,339円

### II 特別会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 960,003円	計 960,003円
--------------------------	------------

### III 名簿会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 617,331円	計 617,331円
--------------------------	------------

### 会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	8,414,000	H30年迄の前受金
令和元年度会費(2/29現在)	3,529,000	当年度分
前受会費(2/29現在)	3,955,000	R2年以降分の会費
合計	15,898,000	

### 《支出の部》一般会計へ振替

項目	金額	備考
令和元年度会費	3,529,000	当年度分の会費
令和元年度分前受会費	3,369,000	H30年迄の前受金から
合計	6,898,000	

差引現在残高 9,000,000(15,898,000-6,898,000)

### 一般会計及び会費会計現在残高 12,717,339

一般会計現在残高 3,717,339 + 会費会計現在残高 9,000,000 = 12,717,339

### 名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	2,577,755	
名簿売上金	40,000	
利息	8	8/9 2/7
合計	2,617,763	

### 《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	432	4/2
一般会計へ振替	2,000,000	5/18
合計	2,000,432	

差引現在残高 617,331

## 令和2年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。同窓会では、同窓会会費納入方法の変更を行い、同窓会運営の根幹となる会費の納入を確保し、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

- 総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じ開催します。母校との連携・協議を積極的にするとともに、各部会への協力、調整を行います。同窓会活動をすべての年齢層に浸透させる方策等を検討します。
- 財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入促進に努めます。終身会費制度等、会費の納入方法について検討します。(学校・PTAとの協議)
- 事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼、地域・職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。
- 広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実を努めます。

ホームページアドレスが変わりました。  
<https://dousokai.site/zezekoukou/>  
応答性能向上、セキュリティの確保のため、処理性能の高いサーバーに移行しました。  
メールアドレス  
zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp

## コンビニで簡単納入 年会費納入のお願い

令和2年度会費を同封の振替用紙にてコンビニ又は郵便局で  
ご納入いただきますようお願いいたします。  
振替用紙が入っていない方は会費を前納されている方です。

会費は年額2,000円となっておりますが、  
5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

銀行で納入される方は同封の振替用紙は使用できません。手数料はご負担願います。  
滋賀銀行 本店 普 913381



- 従来の22歳までの会費納入の猶予制度は昨年4月に廃止いたしました。
- 新入会員から全員納入をお願いします。
- 尚、終身会費については現在検討中です。

ご理解とご協力をよろしく  
お願いいたします。

# 第68回卒業式



令和2年3月1日、穏やかな陽ざしのもと、本校体育館において、令和最初となる「第68回卒業証書授与式」が行われました。普通科388名、理数科40名、計428名が新たに膳所高等学校から旅立ちました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されており、卒業生と関係の深かった旧職員のみが参列し、ご来賓や在校生は参列しない式でした。例年、来賓としてご参列いただいていた大崎同窓会長をはじめ、本校の元校長先生方などのご来賓の皆さまには、ご出席の通知をいただいておりますが、ご参列いただけず、心苦しく思っております。また、体育館の入口に手指消毒用アルコールの設置、椅子の間隔を広げること、体育館内の換気などの対策を行うという異例づくめではありませんでしたが、卒業生の凛々しい姿が際立つ卒業式が滞りなく挙行されました。

小島秀樹校長は式辞の中で、湯川秀樹博士の「未来を過去の如くに考え、自信をもって前に進んでほしい」という言葉を引用されました。この言葉は研究だけでなく、日々の生活の中でも、これまでの考え方や慣習にとらわれない、新たな視点や考え方をもち、勇気をもってチャレンジすることが大切であること、不安に駆られた時こそ、もうそれは確立されたものと考え前に進むと、新たな発見が見えてくると激励されました。

卒業生代表の石田早侑梨さんの「どこへ行くのだろう。」で始まる卒業生の言葉は、渡り鳥の「ここにはいけない。」という本能と、今まさに思い出の詰まった膳所高校から飛び立っていかねければならない自分たちの心情を重ね合わせたもので、参列者の記憶に残るものでした。その後、野嶋凜果さんの伴奏のもと卒業生全員で「旅立ちの日に」を見事なハーモニーで合唱し、大きな拍手を受けながら、式場をあとにしました。

また、これに先立ち2月28日には、同窓会入会式が行われ、大崎会長の歓迎の言葉、そして新しい理事の紹介のあと学年代表理事の小川隼平さんが、「入会の言葉」を述べ卒業生には「同窓会バッジ」が贈られました。卒業生の今後の益々の活躍を祈念いたします。



## 班活動報告

### 2019年度 全国レベルの大会結果

**ヨット**  
ユース・セーリング・ワールド・チャンピオンシップ 出場  
ユース英英子  
ユース世界選手権  
レーザージャル級 出場 須田英英子  
全国高等学校総合体育大会  
男子420級 4位 須田英英子・志賀慎之助  
男子学校対抗 4位 杉原大・畑中翔  
女子レーザージャル級優勝 須田英英子  
女子420級 出場 毛利淑乃・米澤美乃里  
国民体育大会  
少年男子レーザージャル級 出場 中村奎太郎  
少年男子420級 出場 杉原大・畑中翔  
少年女子レーザージャル級 4位 須田英英子  
少年女子420級 出場 毛利淑乃・米澤美乃里

**ボート**  
男子舵手付クワドルプル 出場  
藤澤弓人・吉田良平・石井隆晴・木村伊吹・南部裕貴  
坂梨峻大・田代達也 出場  
男子ダブルスカル 出場  
佐久間航大・田之上利輝・宇野大樹  
※全国高等学校選抜ボート大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

**水泳**  
全国高等学校総合体育大会  
男子200m背泳ぎ 出場 下村聖太  
女子50m自由形 出場 兼田真奈  
国民体育大会  
少年A200m背泳ぎ 出場 下村聖太  
少年A4×100mドレリーレ 8位 下村聖太  
少年B500m自由形・4×100mフリーレ 出場 兼田真奈

**馬術**  
全日本高等学校馬術競技大会 団体出場  
全日本空手道選手権大会 女子団体組手 出場 松前遥香

**かるた**  
第43回全国高等学校総合文化祭 出場  
井上雄貴・桐浴明日香・新矢将宗・丹羽晴海・原しほり  
文化連盟賞  
第41回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会  
団体戦 出場  
C1級 3位 高嶋桃愛  
C10級 3位 上田森慈  
C11級 優勝 桐浴明日香

**合唱**  
第43回全国高等学校総合文化祭  
合唱部門（合同） 出場 丹羽奈々子・宇都優花 文化連盟賞

**弁論**  
第43回全国高等学校総合文化祭 出場 深尾力丸 文化連盟賞  
第24回全国中学校高校ティベート選手権 ベスト16  
安里光世・小利池祐希・深尾力丸・桑原直志・佐野翼  
日名子美咲

**書道**  
第50回近江神宮全国献書大会  
毎日新聞社賞 竹村陸 献書祭にて神前揮毫

**写真**  
第43回全国高等学校総合文化祭 松本悠吾 文化連盟賞  
日本生物学オリンピック2019  
銀賞 石田早侑梨

**第9回科学の甲子園全国大会 3月開催**  
伊波尚通・中川はつみ・平野裕和・游達哉・江原和希・田中颯人  
中川翔太・松村太陽  
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

## サクサク!

### 主要大学合格者数

（主な国立大学）		（主な私立大学）	
旭川医大	1名	京都府立大	60名
北海道大	5名	京都教育大	5名
東北大	1名	京都工芸繊維大	19名
茨城大	1名	大阪府立大	12名
筑波大	2名	大阪府立大	12名
千葉大	3名	大阪府立大	12名
東京海洋大	1名	大阪府立大	12名
お茶の水女子大	2名	神戸市外大	2名
東京大	1名	和歌山県立医大	2名
東京医歯大	2名	下関市立大	1名
東京芸大	1名	国際医療福祉大	3名
東京工業大	2名	目白大	2名
一橋大	2名	東京歯大	1名
横浜国立大	1名	青山学院大	2名
新潟大	1名	慶応大	6名
金沢大	4名	順天堂大	1名
福井大	6名	昭和女子大	1名
山梨大	1名	中央大	1名
信州大	4名	東海大	1名
岐阜大	3名	東京農大	8名
静岡大	2名	東京理大	13名
名古屋大	7名	東洋大	2名
名古屋工大	5名	日本大	1名
三重大	4名	法政大	8名
滋賀大	12名	星葉大	1名
滋賀医大	12名	明治大	14名
		立教大	2名
		早稲田大	11名
		関西外大	4名
		近畿大	54名
		摂南大	9名
		藍野大	1名
		大阪保健医療大	1名
		大和大	3名
		関西学院大	10名
		甲南大	1名
		甲南女子大	2名
		神戸学院大	3名
		神戸学院大	5名
		神戸女学院大	3名
		兵庫医大	3名
		兵庫女子大	4名
		奈良大	2名
		岡山理大	1名
		崇城大	1名
		立命館アジア大	1名
		立命館大	1名
		防衛医科大学校	3名
		防衛医科大学校	1名
		滋賀総合保健専	1名
		社会学部専門学校	1名
		京都動物専門学校	1名
		関西大	37名

\*3月30日までの判明分  
\*過年度卒業生を含む

## 編集後記

昨年度まで顧問を務めて下さった小西英太郎さんが、令和元年7月にお亡くなりになりました。これまで同窓会に役員として長きにわたり、ご尽力頂いたことに感謝します。ご冥福をお祈りします。

中国で発生した新型コロナウイルスが、2月に入り、日本でも猛威をふるっています。3月2日から母校も休校となりました。今回JUNGIDOも発行できるか、部会を開けるかと心配していましたが、卒業式は終わり、生徒の受験も一段落し、発行の運びとなりました。突然訪れる非日常に困惑しております。健康が第一、希望を持って進みたいものです。

- 上野滋子（東2）・浅田幸作（膳6）・松村暢江（膳10）  
東郷重明（膳15）・藤原陽子（膳16）・新川均（膳16）  
卯田重子（膳16）・護法良憲（膳19）・八耳哲也（膳19）  
小川治彦（膳25）・岡澤則子（膳26）・吉田稔（膳26）  
雲 恭子（膳33）・増井詠子（膳36）・南田智美（総務）

校庭の「道義の桜」開花!!  
3月24日撮影



## 同窓会役員（令和元～2年度）

会長	大崎悦男（昭40膳）	副会長（広報）	田重子（昭43膳）
副会長	護法良憲（昭46膳）	副会長（広報）	東郷重明（昭42膳）
	山本勝義（昭48膳）	顧問	浅田幸作（昭33膳）
	川戸良幸（昭49膳）	幹事	松村文夫（昭36膳）
会計	黄瀬誠幸（昭41膳）		加藤徳彦（昭55膳）
監事	水谷正（昭46膳）		坂下覚（昭56膳）
	林典子（昭53膳）		南田智美（膳所高校）
部会長（総務）	山下記誉（昭50膳）	事務局	中山郁（昭59膳）
部会長（財務）	中山雅文（昭59膳）		神野綾子（平3膳）
部会長（事業）	山本彰（昭53膳）		